

医療現場におけるダイバーシティ・マネジメント

進んでいく
グローバル化

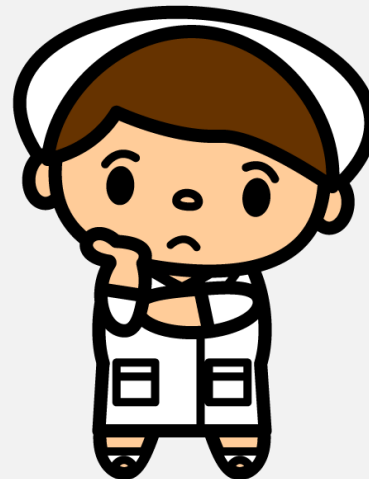
労働人口の減少

労働人口の減少

高齢化



「ダイバーシティって？」
「ダイバーシティが高まる？」



医療を支えていくには、
本当にこのままでいいの？

1. 医療現場におけるダイバーシティ

ダイバーシティとは
「多様性」「多様である状態」



「マイノリティ」 (minority)

「少数者・少数派」※単なる人数の話ではない
中心的・支配的な集団からの区別や軽蔑
政治的・経済的・社会的に弱い立場に置かれている

「マジョリティ」 (majority)

「多数者」・「多数派」を意味する

日本社会

人権・少子高齢化によって引き起こされる労働力人口減少に対応できる人材確保

現在・・・人種・宗教・価値観・性別・障害者・ライフスタイル



「医療や病院に多様な人々が存在している状態」

「働き方改革」

「一人ひとり、組織で十分に力を発揮して働くための環境整備」

2. 「当たり前」に潜むリスク

多様性??



属性は無数

性別・セクシュアリティ、年齢、信仰や思想信条、国籍、言語、出身地、
学歴、身体的な機能...など無数

限られた属性の人しか存在しない場合

特定の属性の人しか組織の役割を担っていない場合、その組織には多様性がないと言える